

五常

編集発行
コミュニティ
協議会
広報委員会

人口
7,018人
世帯数
2,668世帯
19年7月現在

10月13日五常フェスタが開催されました。

さわやかな秋晴れが広がる空のもと、五常太鼓の響きと共に十月十三日正午より、五常フェスタを開催しました。今年で四回目を迎えました五常フェスタは、これまでよりも『地域のお祭り』としての特色を出せるように、子ども・親・地域の皆様方が一体となって楽しめることを目指し、PTA本部役員が中心となり、実行委員会と推敵を重ね全体のプログラムを構成しました。全体のプログラムとしては、個々のイベントに集中して参加できるように二部構成としました。一部は、お母様方による趣向を凝らしたゲームや軽食コーナー、そして外部団体の方・地域の方による模擬店の出展に、大賑わいとなりました。また、体育館では迫力のある空手・少林寺の演武が行われました。二部は、一部のイベントを一



オープニング五常太鼓

旦終了させて、二部の会場となる体育館に全員が移動し、始めに先生方と一緒に楽しめるクイズ形式のゲーム大会を行いました。ゲーム内容は、事前に子ども達に「行きたい国」「好きな給食メニュー」などのアンケートを取り、

その結果について校長先生をはじめ、多くの先生方に当てていただくという形式です。子ども達は先生方のご回答に大変興味を持ち、

先生方が回答される毎に歓喜の声が沸き起こっていました。そしてエンディングのイベントとなるコンサートですが、世代を超えて広く、多くの方に楽しんでいただけるようにと口笛奏者『女性部門世界No.1』の分山貴美子さんをお迎えし、就学前のお子様からご年配の方に親しんでいただける曲目を演奏いただきました。演奏会には六百名を超える来場者があり、体育館内



校内賑わいの様子



口笛コンサート「同じ空の下」

は拍手と歓声に包まれ、これまでにならぬ多くの方に、五常フェスタを楽しんでいただくことができました。今後子ども達が家庭、学校、そして地域の方と強い結びつきの持てる機会を提供できるようPTA活動を推進して参りたいと思います。最後に当日の学校周辺の警備をはじめ、多くのご支援とご協力をいただきましたコミュニティ協議会の方、自治会の方そして大勢の地域の方々に感謝申し上げます。今後もPTA活動への皆様のご支援をよろしく、お願い致します。
五常小学校PTA会長 栗野 彰規

キンモクセイの香りに誘われて

キンモクセイの香りが辺りを覆う

10月13日、秋晴れのもと五常フェスタは行なわれました。今年度は、一部の模擬店と二部の口笛コンサートという二部構成で行なわれました。一部では子供たちの笑い声が聞こえ、友達と誘い合って次のゲームはどれにしようかと相談する姿が見られました。ゲームがうまくいって歓声を上げ、また、失敗して悔しがる子がいました。早く順番が来ないかなと列の後ろからのぞき込む子や、はやばやとおかしを手に入れて食べている子。みんな、思い思いの楽しみがあったのではないでしょ



来場者誘導の様子



自治会からのバザーの出店

による大声コンテストも開かれ大人から子供まで合わせて100人以上の参加者があり大盛況でした。

五常校区には今のところ夏祭りがありませんので綿菓子やたこせんなどの食べ物のを買って子供たちは縁日気分のようなです。安心して子供だけでも行かせる縁日っていうのもいいものです。

二部では2007年口笛国際大会で総合優勝をされた分山貴美子さんの美しい、涼やかな口笛のコンサートが催されました。小さな子供さんには少し難しかったようですが後半は手拍子もおき、大いに楽しめたようです。コンサートの途中で口笛教室をして頂いた

のですが、子供の頃簡単にできていた口笛が大人になると意外にできないことに驚きました。子供たちもふだん口笛を吹かないのでしょうか、あまり音が出ていないようでした。小さな発見と驚きの時間でした。このコンサートには地域の方がたくさん来てくれていたようです。文化の香り漂うプログラムもいいものだなと思いました。



コミュニティからも小学校の梅で作った梅ゼリーなどを販売しました。

今年の五常フェスタには、たくさん五常の小学生はもちろん、その弟や妹さんたちもたくさん来てくれていたようです。また、チラシを見て来たんですけど、と小さな子供さんを連れて来た地域の方もおられました。だんだ

んと地域に根付いたお祭りになってきたのかなと思えます。キンモクセイの香りのように、ふと気づけば毎年そこにある。お久しぶり、こんにちわ、お元気ですかと挨拶が交わされる。そんな和やかなお祭りですからもあって欲しいものです。

最後になりましたが、防犯、交通整理、救護、自転車整理、受付を担当して頂きました地域の方々、本当にありがとうございました。これからもコミュニティ協議会の活動にお力添え頂きますようよろしくお願いいたします。コミュニティ協議会

副会長 イベント担当 雪下 和卓



もしものときの訓練に大声コンテスト

五常校区コミュニティ協議会自治部会開催

去る10月14日(日)、五常小学校会議室で五常校区の自治会等自治組織の代表者12人の出席のもと、コミュニティ協議会自治部会が開催されました。

この自治部会は、防災を含め安全・安心の確保、活性化など地域の課題に取り組むべく、コミュニティ協議会と自治組織の情報交換、連携強化等のため開催しているもので、今年3回目の開催となります。

会議の様子



当日は、コミュニティ協議会野々村会長より、10月3日に開催された枚

方市コミュニティ連絡協議会の議事内容報告を皮切りに、以下のように報告、討議など行われました。

1. 枚方市コミュニティ連絡協議会

議事報告

- ① 活動計画の進捗状況
- ② コミュニティハンドブックの発刊
- ③ 依頼・要請・情報提供について、連絡協議会、行政との関係などルールづくり
- ④ 地域リーダーの育成のための研修会・講演会の実施など
- ⑤ 平成19年度成人祭「はたちのつどい」の開催(青少年課)を始め市関係各部署からの連絡・報告事項

2. コミュニティ協議会

上半期活動報告

- ① 「まちづくり企画委員会」活動報告
- ② 6月にコミュニティ協議会を事務局として自治会・各年代等の各層10名を委員とする「まちづくり企画委員会」を設置した。時代にマッチした新しい魅力あるまちづくりの提言とC地区再開発への対応を目指し、課

題の洗い出し、ビジョン・目標づくり等に取組んでいる。

- ② 「まちづくりビジョン」案の作成
- 「誇りのもてる安心安全で魅力あるまちづくり」

(2) C地区再開発への対応

- ① 7月6日、枚方市に対して道路の安全確保、環境保全をはじめとする要望活動
- ② 7月25日、都市再生機構に対して要望活動

今後も各自自治組織からの意見を採り入れながら関係機関に対して申し入れを行っていく予定です。

(3) 「自主防災会」報告

- ① 最近の国内の大震災発生状況を見る
- と災害時、近隣地域社会での対応の重要性が良く分かる。自治会中心の防災対策が必要である。
- ② 校区「防災フェスティバル」を来年3月9日に実施予定である。
- ③ 校区自主防災会では、7自治会の代表とコミュニティ協議会で防災会議を9月に開催した。今後災害時要支援者をどうするか、避難場所の徹底、防災倉庫の問題など検討していく予定。

(4) 自治組織の充実

校区内各自自治組織とコミュニティ協議会が一体となって取組む必要がある。活動方針でも挙げているが「自治組織の充実と強化」に向け、さらに一層の連携強化をはかりたい。

(5) 「交通安全対策」等活動報告

3. 下半期活動計画・要請

- (1) 第18回「とんど祭り」の開催について

期日 2008(平成20)年1月13日(日)
時間 午前10時～12時(予定)
場所 五常小学校グラウンド
準備から当日運営に至るまでの支援・協力をお願いしたい。

- (2) 「美化運動の推進月間」について
11月を推進月間として、月末に一斉清掃日を入れて取組む予定。ごみ収集の方法等後日連絡。
- (3) 「コミュニティ活動資金」について
野々村会長より「地域の一体感と活性化を図るために、校区コミュニティ協議会として夏祭りなどをはじめとする様々な企画を検討中」との報告がありました。報告の中で会長は「五常校区コミュニティ協議会では『とんど祭

淀見公園の紹介

校区内の施設紹介で今号では淀見公園を紹介いたします。紹介者はコミュニティ協議会役員であり、淀見公園の

り』などのイベント開催に取り組んでいるが、住民同士が親睦交流を深めるこうした機会は、住み良い地域づくりには不可欠で、さらに拡充させる必要がある。地域の住民が仲良く助け合っこそ、防災・防犯、環境美化といった生活上の様々な課題の解決に結びついていく」と訴えました。現在、五常校区コミュニティ協議会の運営は枚方市からの補助金(約47万円)を主な活動資金としていますが、各種事業の充実にはまだまだ十分とはいえないのが現状です。とくにイベントの開催では、一部自治会からの寄付金が充当されていることもあり、「校区コミュニティ協議会の各自治組織が公平に一体となつて取り組んでいく必要があるのではないか」という意見もありました。この案件については、各自治組織の代表者が持ち帰り、それぞれの総会などにはかつたあと、次回の自治部会で継続して討議されることになっています。

維持管理にもご尽力いただいている齋藤さんをお願いいたしました。



満開の桜

五常校区には以楽公園を始め、13か所もの街区公園があり、公園の多い町で市民の憩いの場として大いに利用されております。そのうちの「淀見公園」を紹介します。

淀見公園は、妙見山配水池(通称エントツ山)に隣接し、面積が0.5ヘクタールとやや大きめの公園です。公園には、桜の木が50本以上も植えられており、花見シーズンには桜の下でお弁当を広げ、楽しそうな家族づれの花見などが見受けられます。公園広場の周りには、ウメ、フジ、サ

トザクラ、ハナカイドウ、サルスベリ、クチナシ、など花の咲く樹木が多く利用者の目を楽しませてくれます。一部には、直径60センチ以上もあるモミジバフウ、コナラ、シラカシ、マツなどの大木も多く、まるで森のような雰囲気も感じられます。



管理の行届いた花壇

花壇には、正月のハボタン、春はパンジー、夏はポーチユラカなどが植えられるほか、マツバギク、キバナコスモス、スイセンなど二年を通して花が咲いており、花の公園といっても過言ではないと思います。

この公園は、近くの老人会がボランティアで2ヶ月3回の清掃、年3回の

花苗の植え替え、花壇の水やりなど公園の維持管理に努め、平成14年度には大阪府知事からの感謝状を頂いております。

C地区解体工事の状況

C地区解体工事の進捗についてお知らせいたします。

当初、工事完了は11月末の予定でしたが、12月末まで1ヶ月間延長されます。残工事は主に囲いの中の整地作業ですが、一部道路上での下水道工事、舗装工事も残っております。5丁目バス停前の道路では11月中旬に夜間工事も予定されておりますので、通行の際は注意しましょう。



旧C集会所付近の状況